
隣の男

ART

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

隣の男

【Nコード】

N0017Z

【作者名】

ART

【あらすじ】

隣の男について書いた小説である

（前書き）

隣の男について書いた小説です。

もしよければ感想や次回作でこんなのがいいというものがありませんでしたらコメントして下さい。

隣にいる男は小説を書くのが好きらしい暇れば書き込んでいる。もしくはスマートフォンで小説を読んでいる

ただひとつ疑問に思うのがネットに小説を書きこんでるのに家のノートパソコンはネットにつながってない。

今日も隣で書いていた。少しにやけながら書いている。なんか笑えた・・・

内容はいつも同じものを読んでいる。この前そいつの家に行った。くさかった。湿気のこもったによい台所は料理をした形跡はない。横の段ボールにはインスタント食品と米そして使われくことがあるのか疑問な調味料、なんか調味料が可哀そうだ。ベランダには洗濯物があつた一応洗濯はしてるようだ。少し安心した。ベットには脱ぎ捨てられたパジャマ床にはたたまれた洗濯物なおせよ・・・

お風呂を見たバケツに洗濯物がぶち込まれていたこれ・・・なんだ？ベットのいたるところにゴミが散乱しているテーブルには食パンを焼いた時のカスがおちている。トイレに行ったここはともきれいだ驚きだった。この部屋の点数は30点そのほとんどがトイレの点数だった。でも楽しかった。まるで未知の地を探索しているようだった。最近テレビを買ったらしいので見に行きたいテレビだでも直に置いてあるかわいそうだそれから数日後てれびは段ボールの上に置いてあつた。そしてPSS3がふえていた。先にテレビ台かえよ・・・

それからまだ行ってない今はどうなってるかたのしみだ。

ちんみにこれを書いてる時も小説を読んでいるこれがいつもの日常だ。まったく楽しそうに笑っているいやにやけている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0017z/>

隣の男

2011年11月30日11時54分発行